



人とともに 地域とともに

国立大学法人

島根大学

令和4年10月 21 日

報道機関 各位

島根大学 次世代たたら協創センター
「第11回NEXTAフォーラム」を開催します【11/18】

◆本件のポイント

- ・株式会社日立製作所の榎本裕治様を講師にお招きして開催。
- ・2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、モーターの効率改善は取り組むべき重要課題の一つです。
- ・次世代たたら協創センターで進められるモーター産業プロジェクトでは、アモルファス素材を使用した高効率モーターの研究開発に取り組んでいます。
- ・榎本先生は、アモルファスモーターの設計・開発の分野で多くの顕著な業績を上げてこられた第一人者です。
- ・今回のフォーラムでは、モーターの技術動向とそれらで利用される磁性材料の利用形態、アモルファスモーターの開発に関してご紹介いただきます。

◆概要内容

開催日時:令和4年11月18日(金) 15:30~17:00

開催場所:島根大学次世代たたら協創センター 講義室 /オンライン

講師:株式会社日立製作所 榎本裕治様

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、オンラインのみの開催とする場合があります。

NEXTA フォーラムについて、詳しくはこちら →
(<https://tatara.shimane-u.ac.jp/business/forum.html>)



◆本件の連絡先

島根大学 研究・地方創生部 地方創生推進課 NEXTA プロジェクト推進室

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL:0852-32-6275 FAX:0852-32-9749

mail:tatara[at]office.shimane-u.ac.jp ※[at]は@に置き換えてください

URL:<https://tatara.shimane-u.ac.jp/>

【添付資料: あり(2 枚) なし】

NEXTA FORUM 11

カーボンニュートラルに貢献するモータ技術革新と磁性材料への期待

温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、モーターの効率改善は取り組むべき課題の一つです。次世代たたら協創センターのモーター産業プロジェクトでは、Fe基アモルファスリボンを使用した高効率モーターコアの研究開発に取り組んでいます。ご講演頂きます榎本先生は、アモルファス・モーター開発・設計の分野で多くの顕著な業績を上げてこられた、第一人者の一人です。

本セミナーでは、榎本裕治先生より、モーターの技術動向とそれらで利用される磁性材料の利用形態、アモルファス・モーターの開発に関してご紹介いただき、将来についてディスカッションします。お気軽にご参加ください。

株式会社日立製作所 研究開発グループ
電動化イノベーションセンタ モビリティドライブ研究部
主管研究員 榎本 裕治 先生



博士（工学） 技術士（電気電子部門） VEリーダー（日本VE協会認定）

2022.11.18 FRI. 15:30-17:00

島根大学松江キャンパス内
次世代たたら協創センター 1F 講義室（松江市西川津町1060）

プログラム

1. 挨拶
2. 講演
3. 質疑応答
4. ディスカッション

対象 県内企業の皆さまなど
定員 32名 +オンライン

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によりオンライン開催とさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

お申し込み方法

QRコードまたは
下記URLからお申し込みください。



<https://forms.office.com/r/J8cfRAFANS>

申し込み締め切り 令和4年11月16日（水）

- ※1 収容人数の都合上、人数制限をさせていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※2 ご参加いただいた方は、「NEXTAフォーラム」のご登録者として、今後各種イベントのご案内等を送付させていただきますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
- ※3 取得した個人情報は、本フォーラム以外の目的には使用しません。

NEXTAフォーラムとは

県内企業のみなさまと定期的な情報交換を行うことで、NEXTAとの共同研究等への発展や社会人の博士課程入学など、県内企業様との様々なコラボレーションを期待しています。

「NEXTAフォーラム」では、企業のみなさまの事業のご紹介や関心事をお聞きする機会や、NEXTAの取り組みの現状をお伝えする機会、または、県内外の先進的な研究開発を進められる企業や研究機関の研究者を講師にお招きし共に学ぶ機会を作っていきたいと考えています。入会費はございません。適宜ご案内しますので、お気軽にご参加ください。



NEXTAホームページ

